

国際理解教育講師等派遣事業

ワールドキャラバン

令和2年度報告



主催:茨城県国際理解教育推進協議会

茨城県教育庁学校教育課義務教育課
茨城県教育庁学校教育課高校教育課
茨城県教育庁学校教育課特別支援教育課
茨城県教育庁総務企画部生涯学習課

茨城県営業戦略部国際渉外チーム
(独)国際協力機構筑波センター
茨城地域留学生交流推進協議会
公益財団法人茨城県国際交流協会

ワールドキャラバンとは

県内の学校や、生涯学習関係機関、並びに国際交流団体等が国際理解の促進を目的とした事業を行う際に、外国人等講師や参加型学習のためのファシリテーターを派遣する制度です。参加者に、外国人と直接対話する機会や、開発教育のワークショップ等を体験する機会を提供することによって、国際理解を深め、国際社会で活躍できる人材の育成を図ることを目的としています。

(ワールドキャラバンの醍醐味は直接会うことですが、コロナ禍では難しい状況もありました。交流機会自体を絶やささないよう、オンラインで画面を通じた交流も可能としました。)

小学校事例

土浦市立乙戸小学校

学校長：寺田 英功

実施日時：令和2年11月13日(金) 13:20~15:20

実施場所：体育館

対象：6年生 56名

コーディネーター：坂本 幸子

講師：フレダ グアンタイ カナヌさん/ケニア/各国事情紹介講師
永野 アンナ 菜穂子さん/ブラジル/各国事情紹介講師
グエン ティ リン チーさん/ベトナム/留学生親善大使

【活動内容】

- 各国の紹介
- ダンス、伝統的な遊び、あいさつなどの体験的な交流

守谷市立郷州小学校

学校長：岩瀬 良伸

実施日時：令和3年1月22日(金) 10:40~11:25

実施場所：教室(講師はオンラインで参加)

対象：3年生43名、4年生48名、5年生50名

講師：ネケロワ マリナさん/ウクライナ/留学生親善大使

【活動内容】

- 自己紹介
- ウクライナの学校や伝統的な料理などについての紹介
- ウクライナに関するクイズ

児童の感想

- 言語や衣食住、学校の様子などについて、写真を見ながら詳しく教えていただきました。音楽を聞いたり、その国のじゃんけんなどの遊びや踊りなどをみんなで一緒に行ったりして楽しかったです。短い期間に、通貨の単位が何度も変わっているということにとても驚きました。
- インターネットや図書で事前に調べ学習を行ったときのイメージと、講師の方から説明していただいたり交流を図ったりした後のイメージは全く違って、交流できてよかったです。



先生の感想

- できるだけ児童が実際に体験しながら、外国人講師の方とコミュニケーションを取れる内容になるように準備していただきました。その結果、子どもたちは実物に触れたり、講師の方と会話やゲーム、ダンスを体験したりするなど、今回の事業に参加したからこそ経験でき、学ぶことができた内容がたくさんあり、大変有意義な時間を過ごすことができたと思います。事業後は、自分の学んだことを他の分科会に参加した児童に伝え合う「情報交換会」を行うことで、自分たちの学んだことや活動を振り返り、情報を共有することでさらに学習内容を深めることができました。



児童の感想

- ウクライナでは、ロールキャベツに米を入れて食べることや、いくらをクレープにくるんだりパンにのせて食べたりすることを知り、びっくりしました。
- ウクライナの面積は日本の1.5倍あり、ヨーロッパで一番面積が広いことがわかりました。
- ウクライナの国旗は、ヒマワリ畑と青空を意味していることがわかり、すてきだなと思いました。
- ウクライナと日本では、食べるものや気候が全然違うことがわかりました。



先生の感想

- 今年度は、感染症拡大防止の観点からオンラインによる実施となりました。ウクライナについて、日本と比較しながら丁寧に説明していただきました。用意していただいたスライドも分かりやすく、子どもたちとコミュニケーションをとったり、クイズを出していただいたりしながら、楽しく話を進めてくださいました。食生活や気候などが日本とだいぶ異なるところがあり、子どもたちは驚いたり感動したりしながら楽しく話を聞いていました。外国に対し関心がもてなかった児童も、今回の授業でいろいろなことを知ることができ、関心が高まりました。授業後の感想に「知らなかったことをたくさん知ることができてよかった。」「面白い文化があるので、一度ウクライナに行ってみたい。」などの意見が数多く書かれていました。またこういった時間を設けることができればと思います。ありがとうございました。



桜川市立岩瀬東中学校

学校長：橋本 孝之

実施日時：令和2年10月15日(木)13:45~15:35

実施場所：体育館

対象：1年生75名、2年生71名

講師：JICA海外協力隊OV

櫻井 文さん 派遣国・マダガスカル
(看護師・保健師)

【活動内容】

- 講演「働くということ」
- 映像視聴
- グループワーク

生徒の感想

- マダガスカルと日本の違いがよく分かりました。特に、両国の良いところが分かりました。
- 人生の先輩から仕事の話、異国の地での生活の話などとても興味深い話が聞けました。「努力したことは自分の強みになる」と聞いて、私も夢のために頑張ろうと思いました。
- マダガスカルは自然が素晴らしいだけでなく、そこに住む人々も素晴らしいと思いました。
- ただ話を聞くのではなく、クイズ形式でみんなで考えながらお話を聞くことができたので、楽しくたくさんのことについて知ることができました。
- マダガスカルのお葬式が日本と違いすぎてびっくりしました。また、マダガスカルの人たちは、大変な仕事でもみんなで歌を歌いながら(すごく上手!)楽しくこなしてしまうのがすごいと思いました。
- マダガスカルの子どもたちは学校に行くのも大変で、学校をやめなくてはいけない子どもも多いと聞きました。今、私が学校に行けていることに感謝したいなと思いました。



先生の感想

- 講師の櫻井先生と事前に打ち合わせをすることができたので、生徒達が取り組みやすい活動や、生徒達が聞きたい話を盛り込んだ内容にしてください、貴重な2時間となりました。全く知らなかったマダガスカルという国を、講演の終わりには身近に感じることができ、最後にはマダガスカルの言葉であいさつをしている、生徒達の良い笑顔を見ることができました。働くことの意義を考えるだけでなく、心豊かに生きることの大切さにも触れることのできた良い機会となりました。ありがとうございました。



大子町立大子西中学校

学校長：鈴木 一成

実施日時：令和2年10月29日(木)10:15~11:45

実施場所：体育館(文化祭)

対象：1~3年生44名

講師：村尾 光子さん/日本/ファシリテーター

【活動内容】

- 国際理解教育講座「地球家族」
- グループ形式で、写真を見ながら、出された課題について自分の考えを出し合った。

生徒の感想

- 写真を通して、世界には様々な事情があることに気づき、豊かな日本から支援していきたいと思いました。また、そのような貧富の差がなくなしてほしいと思い、自分の生活を見直す機会になりました。
- グループで話し合うときに、たくさん意見を発表できました。また、世界のいろいろな地域の写真を見て、日本はものであると思いました。
- グループでの話し合いのときに、意見を出したり、聞いたりして、その国の人たちのことを考えることができました。また、自分たちの生活と違うところなどを見つけたり考えたりできたのでよかったです。
- いろいろな国の生活をしっかり考えることができました。私たちの生活はとても豊かだと思いました。これからもいろいろな国のことについて考えたいと思いました。



先生の感想

- 生徒たちにとってあまり馴染みのない国を選んでくださったので、生徒たちが興味をもって写真の国での生活について考えることができていました。各班での話し合いの時間や発表の時間も十分に確保することができていました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、各班の活動場所を体育館全体に広げて行ないました。
- 生徒たちが世界に目を向けるきっかけとなり、内容ややり方としていたことがよかったです。おもしろかったです。
- 生徒たちが楽しんで活動を行っていたのでよかったです。



茨城県立明野高等学校

学校長：山田 伸一
 実施日時：令和2年10月16日(金)12:00~14:25
 実施場所：調理室、教室
 対象：2年生20名
 コーディネーター：海原 三枝
 講師：王 清さん/中国/各国事情紹介講師
 ビエルナツカ ヤマグチ イボナさん
 /ポーランド/各国事情紹介講師

【活動内容】

- 各国料理教室と食文化の紹介を通じて、生徒の国際理解を深める。

生徒の感想

- 日本と各国の文化や環境の違いについて、講師の先生のわかりやすい説明を通して学ぶことができ、とても良かったです。
- 内モンゴルの王雁という踊りを実際に目の前で見る事ができて、本当に鳥が羽ばたいているかのように美しく迫力のあるパフォーマンスで、とても感動しました。
- 中国やポーランドについてはテレビや雑誌などの知識でしか知らなかったため、実際に先生方にお会いして話を聞き、自分の中にあった先入観や印象を良い意味で覆すことができました。



先生の感想

- 国際理解について、通常の授業では教えることが難しいリアルな現地の様子や情報を、外国人講師の方との交流を通して学ぶことができ、生徒達も体験的に楽しみながら理解を深めることができましたと思います。人種や個性の多様化への共感が世間的にも謳われている中で、生徒達にとって他国、そして個の理解を促進する貴重な機会になりました。また、コーディネーターの方が仲介してくださったおかげで、授業内容の確認をスムーズに進めることができ、大変助かりました。このような機会をいただき、ありがとうございました。また次回開催も楽しみにしております。



茨城県立水戸桜ノ牧高等学校常北校

学校長：益子 雄行
 実施日時：令和2年12月10日(木)13:35~15:35
 実施場所：教室
 対象：1年生25名
 講師：トレフソン トッド アンドリュウさん
 /アメリカ/各国事情紹介講師
 根本 久美子さん/日本/ファシリテーター

【活動内容】

- アメリカ(ミネソタ州)における生活環境の紹介
- 異文化理解ワークショップ

生徒の感想

- 日本とアメリカの食生活や健康の考え方の違いが印象的でした。アメリカでは、肥満率が高いため、細身の人は食事をしていないのか心配されることや、日本人の中で肥満の人でもアメリカに行けば普通に見えてしまうなど、国が異なるとこまごまの違いがあるのだと思いました。
- ミネソタ州では、冬場になるとオーロラが見られるのでうらやましいと思いました。私も将来海外に行ってみたくくなりました。
- 世界の国旗にはそれぞれ意味があり、色の違いなどにも歴史的背景があるのだと分かりました。
- ワークショップをやってみて、言葉を発しなくても相手と意思疎通ができる体験ができました。それなら、たとえ言葉がお互い分からなくても、理解し合って仲良くすることができるのではないかと深く感じる事ができました。



先生の感想

- ミネソタ州の実情をもとに、分かりやすく日本と比較していただけてだけでなく、生徒の興味・関心を引き出すトークで盛り上げてくれたことで、生徒も楽しく理解することができたと思います。中でも、気候的特色や食生活の違いによる文化の差は、授業で既習した内容にも大きく関わり、生徒の学習意識を高める機会となりました。ワークショップでは、活動的学習で生徒に実体験をさせることで、外国語への苦手意識が和らいだ印象を受けました。さらに、言葉を介さずとも意思疎通ができるということを理解できたため、日常生活におけるコミュニケーションにもつながったと感じました。ファシリテーターと講師のお二人は、日本語を交えつつも、肝心の箇所では英語に切り替え実施してくださったことで、生徒も深く理解し楽しめたのだと思います。



茨城県立石岡特別支援学校

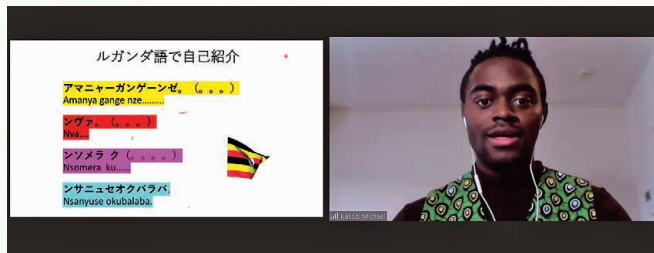
学校長：村山 亮
 実施日時：令和2年12月11日(金)13：30～14：20
 実施場所：教室(講師はオンラインで参加)
 対象：3年生14名
 講師：カソジ マイケルさん
 /ウガンダ/留学生親善大使

【活動内容】

- 自己紹介
- ウガンダの国紹介(食べ物、自然、民族衣装など)
- 質問タイム

生徒の感想

- 主食がバナナだと聞いておどろいた。日本と違うなと思いました。
- ゴリラやキリン、ゾウ、ライオンなど大きな動物がいる自然がありすごかったです。
- 動物の種類がたくさんあっておどろいた。
- バナナの種類がたくさんある。
- 日本車が走っている。



先生の感想



- リモートでの交流となり、子供たちの反応が感じづらい中でも、動物や食べ物など興味の持てる内容でウガンダの国を紹介していただけてよかったです。対面での直接交流ができると、さらに生徒の記憶に残る交流になると感じました。

講師の感想

- 子どもたちは、ゴリラなど野生動物にとっても興味を持っていました。ウガンダに行きたいと言ってくれた人もいました。



茨城県県西生涯学習センター

所長：沼尻 満男
 実施日時：令和2年11月22日(日)14：00～16：00
 実施場所：茨城県県西生涯学習センター 中講座室
 対象：小学生16名、保護者16名、センタースタッフ3名
 講師：チャン トゥ タオさん/ベトナム/留学生親善大使
 タスファイエ ガライヤさん/エチオピア/各国事情紹介講師
 ルドヴィク デピノさん/フランス/各国事情紹介講師

【活動内容】

- 3つの国の文化についてクイズを交えながら親子で学び、遊びや衣装の試着などを体験した。

参加者の感想

- フランスのゲームが楽しかったです。フランスでカタツムリの料理を食べることにびっくりしました。
- ベトナム、エチオピアの衣装のことが分かりました。
- 先生がとてもやさしい説明が上手だし面白かったです。
- とても面白かったです。またいろいろな国の人の話を聞いてみたいです。



保護者の感想

- ベトナム・フランス・エチオピアの先生が日本に住み、文化を広めようと語学を覚えてくれて出逢えたこと、素敵なことだったと思います。
- それぞれの先生の個性があり、とても楽しくまた、なかなか行くことができない国なので身近に学習できて良かった。
- (講師の質問に対して)手を挙げる方法だと決まった子が挙手しがちなので、先生から当ててもらえるのも良いと思いました。

担当者の感想

- このような企画は今回初めてで、まだイメージが固まっていない状態での依頼でしたが、ご相談にも乗ってくれましたし、要望にも臨機応変に対応していただきました。違う国の講師3名それぞれの個性を発揮した内容で楽しむことができました。コロナ禍で外国に行く機会も外国人と交流する機会もあまりない中で、このような事業を実施でき、とても感謝しています。またご協力いただけたら幸いです。



ワールドキャラバン 活用のバリエーション

ワールドキャラバンには、国際理解を深めるための色々な活用法があります。
イベントや交流会等、目的に合わせた場面でご活用ください！

各国の文化紹介(楽器体験等)



(日立市立櫛形小学校)

民族衣装試着体験



(茨城県立古河中等教育学校)

オンラインでの実施



(牛久市国際交流協会)

民族舞踊



(守谷市国際交流協会)

各国料理教室



(北茨城ユネスコ協会)

JICA海外協力隊体験談



(桜川市立岩瀬西中学校)

国際理解教育ワークショップ



(つくば市立沼崎小学校)

NGO団体の支援活動紹介



(水戸葵陵高等学校)

*活用例の詳細につきましては、裏表紙(3)ワールドキャラバン活用の例をご覧ください。

令和2年度ワールドキャラバン実施校／団体一覧表

No.	派遣先	開催日	No.	派遣先	開催日
1	水戸英宏中学校	令和2年 9月 14日	31	メサフレンドシップ (2/3)	令和2年12月 1日
2	城里町立石塚小学校	令和2年 9月 16日	32	土浦市立都和南小学校	令和2年12月 4日
3	牛久市国際交流協会 (1/2)	令和2年 9月 16日	33	那珂市国際交流協会 (2/4)	令和2年12月 4日
4	茨城県立玉造工業高等学校	令和2年 9月 24日	34	ひたちなか市立那珂湊第三小学校	令和2年12月 8日
5	石岡市立瓦会小学校	令和2年10月 1日	35	龍ヶ崎市立松葉小学校	令和2年12月 8日
6	つくば国際大学高等学校	令和2年10月14日	36	日立市立坂本中学校	令和2年12月 9日
7	桜川市立岩瀬東中学校	令和2年10月15日	37	茨城県立水戸桜ノ牧高等学校常北校	令和2年12月10日
8	茨城県立明野高等学校	令和2年10月16日	38	茨城県立石岡特別支援学校	令和2年12月11日
9	茨城大学教育学部附属特別支援学校	令和2年10月19日	39	清真学園高等学校・中学校	令和2年12月12日
10	つくば市立沼崎小学校	令和2年10月21日	40	那珂市国際交流協会 (3/4)	令和2年12月12日
11	茨城県立大子清流高等学校	令和2年10月21日	41	東洋大学附属牛久高等学校	令和2年12月18日
12	大成女子高等学校	令和2年10月26日	42	守谷市立郷州小学校	令和3年 1月 22日
13	つくば開成高等学校	令和2年10月26日	43	愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校	令和3年 1月 27日
14	大子町立大子西中学校	令和2年10月29日	44	日立市立坂本小学校	令和3年 2月 5日
15	ひたちなか市立佐野小学校	令和2年10月30日	45	古河市立古河第六小学校	令和3年 2月 10日
16	茨城大学教育学部附属中学校	令和2年11月 4日	46	那珂市国際交流協会 (4/4)	令和3年 2月 14日
17	北茨城市立関本小学校	令和2年11月 6日	47	茨城県立下妻特別支援学校	令和3年 2月 18日
18	茨城県立古河中等教育学校	令和2年11月12日	48	牛久市国際交流協会 (2/2)	令和3年 2月 19日
19	土浦市立乙戸小学校	令和2年11月13日	49	茨城県立土浦特別支援学校	令和3年 2月 25日
20	東海村日本語支援グループ	令和2年11月14日	50	メサフレンドシップ (3/3)	令和3年 3月 2日
21	水戸内原国際交流ふれあいの会	令和2年11月14日			
22	古河市立釈迦小学校	令和2年11月16日			
23	茨城県立日立第一高等学校	令和2年11月16日			
24	メサフレンドシップ (1/3)	令和2年11月17日			
25	つくば市立葛城小学校	令和2年11月19日			
26	茨城県県西生涯学習センター	令和2年11月22日			
27	茨城県立友部東特別支援学校	令和2年11月24日			
28	牛久市立おくの義務教育学校	令和2年11月25日			
29	石岡市立杉並小学校	令和2年11月27日			
30	那珂市国際交流協会 (1/4)	令和2年11月30日			

令和3年度 ワールドキャラバン実施要領



詳細は <https://www.ia-ibaraki.or.jp/kokusai/rikai/caravan/index.html> をご覧ください。

1 派遣内容

(1)派遣先：茨城県内の小・中学校及び義務教育学校、高等学校(中等教育学校を含む)、特別支援学校、生涯学習関連団体

※申請団体から希望があれば、オンラインを使った交流も実施可能とする。

(2)派遣する人材

A 外国人講師

①留学生((公財)茨城県国際交流協会が任命した茨城県留学生親善大使等、茨城県内の大学や高校に在学する留学生)

②在住外国人(県内に在住する外国人(各国事情紹介講師)や県の国際交流員(CIR)、外国語指導助手(ALT))

B 日本人講師

①参加型学習を実施するファシリテーター(異文化理解、開発途上国への理解を深めるためのゲーム、ロールプレイなどを実施します)

②県内のNGO等国際交流協力活動実践者及び海外活動経験者

③JICA海外協力隊及びJICA派遣専門家等

C コーディネーター(日本人)

企画内容について、派遣先の相談に応じ、講師との連絡・調整、当日の進行役をします。

(3)ワールドキャラバン活用の例

①総合的な学習の時間で、世界の遊びや民族衣装、舞踊など披露してもらう。(小・中学校及び義務教育学校)

②道徳や特別活動、社会科等の授業で、JICA海外協力隊の現地活動の様子等を紹介してもらう。(小・中学校及び義務教育学校)

③道徳の授業等で、留学生とともに昨今の社会問題について出身国の状況も踏まえながら話しあう。(高校)

④地理歴史・公民等の授業に外国人を講師として招き、出身国・地域の社会情勢や風土について紹介してもらい、理解促進の一助とする。(高校)

⑤世界の料理を紹介してもらい食文化の交流を図る。(生涯学習関連団体)

⑥県内のNGO等国際交流協力活動者を講師として招き、団体の活動内容に関する講演を行ってもらい、国際協力や国際理解・国際貢献の重要性を知る。(生涯学習関連団体)

⑦ファシリテーターの進行により、シミュレーションゲームやロールプレイ、ワークショップを体験する。

2 申し込み手続き

○派遣を希望する学校は、派遣申請書を募集期間内に協議会事務局まで提出してください。

募集期間 令和3年4月1日～令和3年6月30日

事業実施期間 令和3年9月1日～令和4年2月28日

(※学校・団体の費用負担可能な場合、この限りではありません。ご相談ください。)

国際理解教育教材「ワールドボックス」貸出しのご案内

県内の国際理解教育推進のための役立つ教材(各国の国旗、民族衣装、工芸品、図書等)を各学校や生涯学習センター、その他国際理解教育を実施する個人・団体に貸出します。

教材の紹介、貸出方法や申請書のダウンロードは、公益財団法人茨城県国際交流協会のホームページをご覧ください。

<https://www.ia-ibaraki.or.jp/kokusai/rikai/box/index.html>



お問い合わせ先

茨城県国際理解教育推進協議会事務局(公益財団法人茨城県国際交流協会内)

〒310-0851 茨城県水戸市千波町後川745 ザ・ヒロサワ・シティ会館分館2階

TEL: 029-241-1611 FAX: 029-241-7611 E-mail: iia@ia-ibaraki.or.jp

